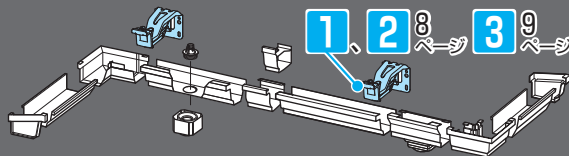


③ 軒とい金具の水上、水下金具取り付け



必ず守る

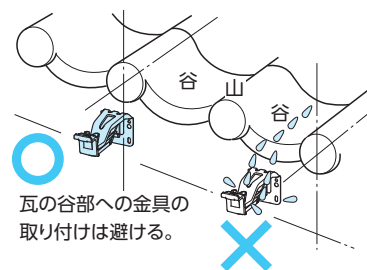
■金具の取り付けは水勾配を必ずとる

雨漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

■金具は瓦の谷部を避けて取り付ける

滑雪による破損および金具からの伝い水により、建物を傷めるおそれがあります。

また、屋根瓦と雨といの組み合わせによっては、雨といが水を受けきれず、雨水が建物内に流れ込む可能性がありますので施工前後に受水確認をしてください。



瓦の谷部への金具の取り付けは避ける。



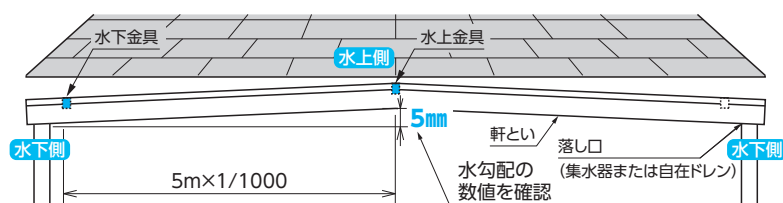
1 水勾配の確認



動画で見る

雨とい 施工動画集
https://www2.panasonic.biz/ls/sunai/manual/movie/amatoi

- 水上金具と水下金具の取り付け高さの差は軒といの長さ和水勾配1/1000または5/1000から換算する。
例えば水上と水下の間隔を5mとした場合、水勾配1/1000で高さの差は $5m \times 1/1000 = 5mm$ となります。



2 金具水上位置の決定

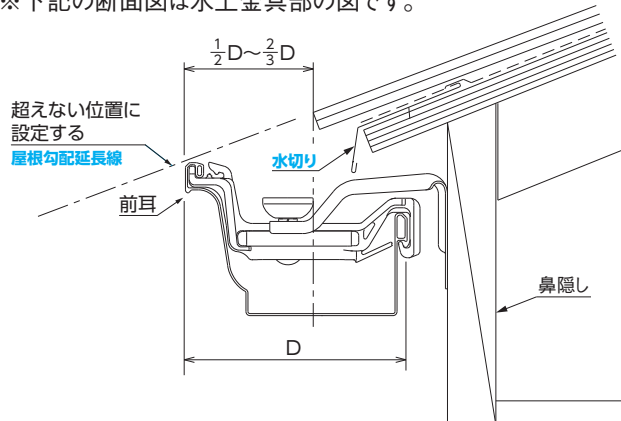
【軒先からの出寸法（一般地の場合）】

- 軒といの高さは、軒とい前耳部が屋根延長線上もしくは、**屋根延長線**を超えない位置に設定する。
軒といの出寸法は、軒先から前耳を軒とい上幅の1/2～2/3を出してください。

ポイント

- 雨水が鼻隠し側に回らないよう、**水切り**の位置を確認してください。

※下記の断面図は水上金具部の図です。

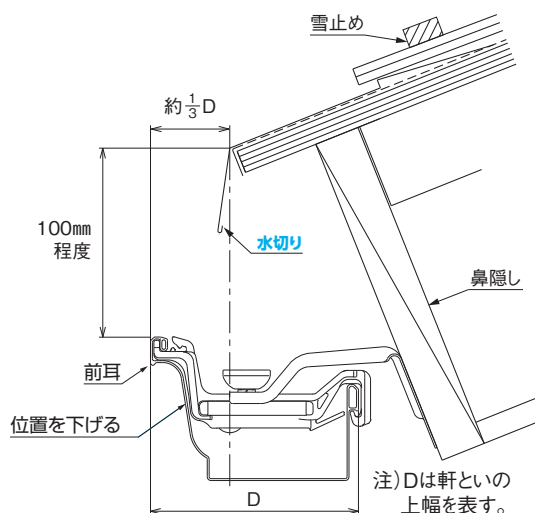


【軒先からの出寸法（積雪地、寒冷地の場合）】

- 積雪地域では積雪荷重を避けるため軒とい出寸法を軒とい上幅の1/3以下とし、軒とい高さ寸法は100mm程度下げてください。

ポイント

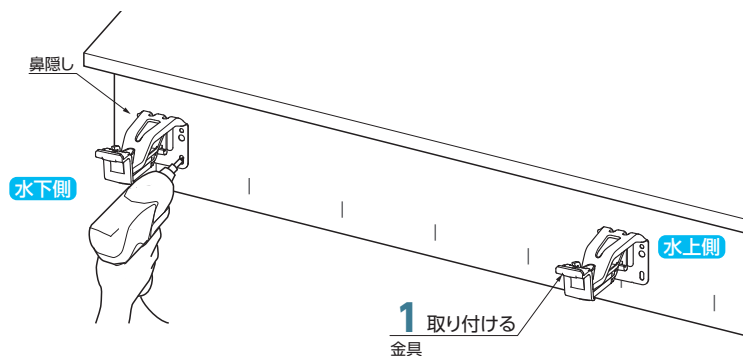
- 軒先からの距離が離れるため、雨仕舞は悪くなります。
- 金属製瓦で流れ長さが長い場合は、雨水の飛び出しが大きくなるため、できるだけ軒といを上へ納めてください。雨水が鼻隠し側に回らないよう、**水切り**の位置を確認してください。



注) Dは軒といの上幅を表す。

3 金具の取り付け

- 1 屋根延長線を確認し、水上位置と水下位置の金具を取り付ける。

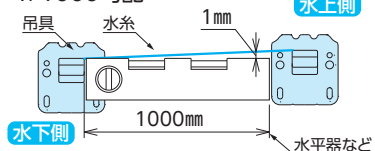


- 2 両端の金具に水系を張る。

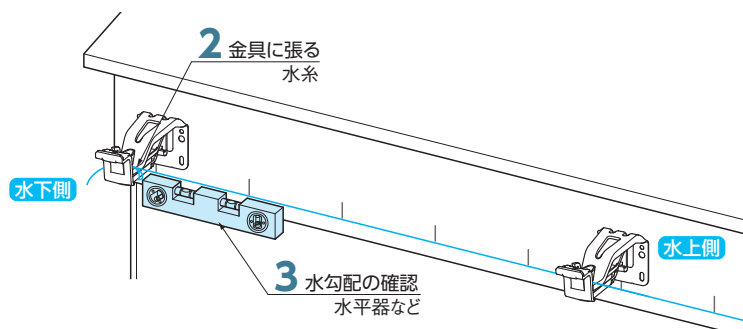
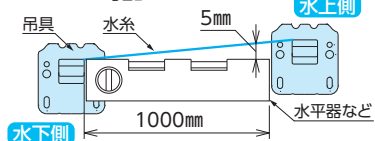
- 3 水平器などを使って水勾配が正しくとれているか確認する。
逆勾配にならないよう気をつける。

取り付け勾配について

- 1/1000勾配



- 5/1000勾配



- 4 水系に従い割り付け位置に合わせて、
中間の金具を取り付ける。

